

会告

第1回日本頭痛学会頭痛専門医認定試験実施について

第1回(2008年度)日本頭痛学会頭痛専門医認定試験を下記の要領で行いますのでお知らせします。

1. 日時 2008年8月2日(土)
2. 場所・時間：都市センターホテル(試験時間は後日 home page に公表いたします)
3. 受験資格
 - 頭痛関連学会(別に定めるところによる(後日 home page に公表いたします))の専門医であること
 - 日本頭痛学会に3年度以上在籍していること
 - 日本頭痛学会認定研修教育施設(別に定めるところによる)で、通算3年以上の研修歴があり、認定時に頭痛診療に従事していること。
 - 頭痛に関連する学会で、頭痛関連疾患に関する発表ないし講演(共同演者でも可)をしていること。
 - 日本頭痛学会誌、または本学会誌以外の学術雑誌に頭痛関連疾患に関する原著論文もしくは症例報告等(共著でも可)を発表していること。
4. 受験申請方法 (後日 home page に公表いたします)
5. 受験申請期間 (後日 home page に公表いたします)
6. 受験料 30,000円
7. 専門医試験の概要

筆記試験(筆答問題と画像問題)。国際頭痛分類(国際頭痛学会編)、慢性頭痛の診療ガイドライン(厚労省研究班)などの内容に準拠し、その後の進歩、新知見にも対応出来ること。

試験問題範囲

- ・解剖・生理, 頭痛の疫学・社会医学, 頭痛の病態生理および病理,
- ・頭痛の診断 (1) 病歴, 症候 (2) 画像診断, その他の検査,
- ・頭痛の治療 (1) 一次性頭痛の治療 (2) 二次性頭痛の治療
- ・頭痛の危険因子・予防

問題例

群発頭痛について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a. 散瞳
- b. 流涙
- c. 中年女性に多い
- d. 落ち着かず不穏状態
- e. 頭痛発作は大部分が夜間のみにおこる